



西山の魅力発掘団

## 大谷 美穂子

OTANI MIHOKO

1977年 長岡市出身

2017年「西山の魅力発掘団」を立ち上げる

西山地域のまちの情報、海や山といった地域資源、伝統行事や西山の民話など、西山の魅力をSNSで発信、「まちの宝物」を認識してもらえるようなイベントの企画・運営を行っているのが「西山の魅力発掘団」。

2017年からこの活動を始めている大谷美穂子さんは、同時期から西山中学校区の学校と保護者や地域をつなぐ地域コーディネーターとしても活躍。4年前からは西山ふるさと公苑の職員として勤務し、昨年から新しくなった西山コミセンでイベントなどを企画する総務企画部長も務めている。

発掘団を始めたきっかけは、結婚して住み始めた西山地域のことを、地元の人たちがあまり興味を持っていない現状が気になったこと。大谷さんは西山で子育てをしていく中で地域の人たちと触れ合い、西山町の豊かな自然や食べ物、歴史や文化について学ぶ機会を得ますます西山のことが好きになった。地域の友人たちと協力しながら子どもたちとさまざまなイベントを行った経験も大きな力になったと振り返る。個人的に行っていたフェイスブックで、西山の魅力に特化した

ページを運営していこうと決め、西山の魅力発掘団を立ち上げて市の元気なまちづくり事業に参加した。発掘団として初めて主催したイベント「たけのご堀り大会」は大盛況だったという。

現在、西山地区の新たな魅力となっている「にしやま賑わい軽トラック市」は、ふるさと公苑の協力事業。職員としてさまざまな手続きを行い、発掘団の大谷さんは「賑わいづくり実行委員会」の一人として運営にも携わっている。新型ウイルス禍で中止や延期もあったが、出店者からの意見を取り入れ、毎回ブラッシュアップしながら多くの人々や出店者が集まる人気のイベントに成長。SNSでの発信力を武器に発掘団とふるさと公苑の両輪で情報発信していることも功を奏している。

「地域の人たちにとっては当たり前なのかもしれないけど、西山はかなり面白いですよ、ということを発信しています。町内外の人たちにここの魅力や懐かしいと思ってもらえるようなあれこれを、世界へ向けて発信しているんです」。大谷さんはイベントだけではなく、地域の祭りや神輿、子供会の未来についても目を向ける。「この地域にはまだ眠っているもの、無くしてしまうにはもったいないものがたくさんある。魅力の発信や歴史の継承、イベント、賑わいづくり等、さまざまなことに関わりながら活動を続けていきたい」と笑顔を見せた。

今年最後の

にしやま賑わい  
軽トラック市

2023 10.15日

西山ふるさと公苑 西遊園 (10:00-15:00)

お問い合わせ

西山の魅力発掘団

☒ lovenishiyama@gmail.com

ホームページも